

## 岐阜県温室効果ガス排出削減業種別実務セミナーにおける質問

	質問	回答
1	Scope3 の算定ルールについての詳細説明をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業者が活動量や排出原単位を選択し、算定することとされています。詳細については、以下の HP を参考にしてください。</li> <li>&lt;参考&gt;</li> <li>・環境省の HP : <a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate_tool.html#no00">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate_tool.html#no00</a></li> <li>・「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver. 2.4)」(2022年3月 環境省 経済産業省) : <a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/GuideLine_ver2.4.pdf">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/GuideLine_ver2.4.pdf</a></li> <li>・「Q&amp;A サプライチェーン排出量算定におけるよくある質問と回答集」(2022年3月 改訂 環境省) : <a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/QandA_202203.pdf">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/QandA_202203.pdf</a></li> </ul> <p style="text-align: right;">(回答者：岐阜県)</p>
2	脱炭素に取り組むきっかけ、またメリットがあれば教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動は待ったなしのため。</li> <li>・グループのエネルギー使用量は、国内の電力使用量の1%近くになるため、2018年に低炭素から脱炭素に切り替え、脱炭素に取り組んでいます。</li> <li>・その後、省エネ、オンサイト PPA などの取り組みの結果、小さいショッピングモールでも年間数百万円の効果が出ています。</li> <li>・経営全体を脱炭素化することが全体の強みになると予想しています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(回答者：セミナー講師 (卸売業・小売業))</p>

	質問	回答
3	<p>今後、納入業者等と協力や求めていく具体例があれば教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サプライヤーに対してアンケートを行っています。</li> <li>・ CO2 算定について、不明点があったり、手間がかかるという声があります。また、目標設定と低減に対しても規模が小さく実施できていないところがあります。サプライヤーと何が一緒にできるか具体的に考えたい。例えば、温室効果ガス排出の可視化からスタートを考えています。</li> <li>・ 商品ごとにリアルタイムで見える化する必要があると思います。商品を作る時から物流も含めて、LCA やカーボンフットプリントのような形で状況の把握と削減方法を検討したい。</li> <li>・ 消費者に選んでいただける努力も一緒にしていきたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(回答者：セミナー講師 (対象業種：卸売業・小売業))</p>
4	<p>会社の敷地に、樹木を植えているのですが、これを、クレジットにすることは出来るのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林経営で、クレジットに出来るのは、森林計画が定められている地域の森林のため、社内の敷地となると難しいと思います。</li> <li>・ 仮に、敷地に森林がまとまってあって、市町村や県や国へ森林計画の申請をして受理されている場合は、J-クレジットの創出が可能となります。</li> <li>・ ただし、仮にJ-クレジットにできなくても、植林や樹木の育成を環境活動として、実施している場合は、アピールする場はあると思います。</li> <li>・ 例えば、岐阜県に提出する温室効果ガス排出削減計画書でも、自由記載欄で、アピールが出来ます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(回答者：セミナー講師)</p>
5	<p>ガス溶断よりも電気切断の方が向いている加工、またその逆があれば教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レーザー（ガス）加工はビーム径 0.2mm 程度と細く、微細加工に特化して使用しています。</li> <li>・ プラズマ（電気）加工は、ガス溶断の弱点である加工スピードが遅い点をカバーするために使用しています。</li> <li>・ 対象の板厚はレーザーで 30mm 未満、プラズマで 50mm 未満で、100～200mm の極厚板ではガス溶断でないと難しい。</li> <li>・ ガス溶断についても脱炭素に向けて燃料ガスをプロパンガスから水素に段階的に切り替えています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(回答者：セミナー講師 (対象業種：鉄鋼、非鉄・金属製品製造業))</p>

	質問	回答
6	<p>SDGs や SBT への取組みを始めたこと会社の内部への影響についてはどうだったのか、従業員の意識や行動の変化があれば教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定の最初の頃は、ピンと来ていなかったが、今回のような講演に呼ばれたり、見学者が来るようになって、意識が変わってきたと思います。</li> <li>・ 以前はコスト面から省エネに取り組んでいたが、最近は CO2 排出の点からも話題にしています。例として、昼休み中の電気について、照明は消していたが、機械は止めていませんでした。最近は、機械の停止もできるようになってきています。</li> <li>・ もうひとつ、自動車をライトバンからハイブリッド車に変更しました。エコゲージがついていることで、エコの範囲で運転する心掛けが出ています。少しずつ意識が高まり、行動も変化しているのではないかと感じています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(回答者：セミナー講師 (対象業種：鉄鋼、非鉄・金属製品製造業))</p>